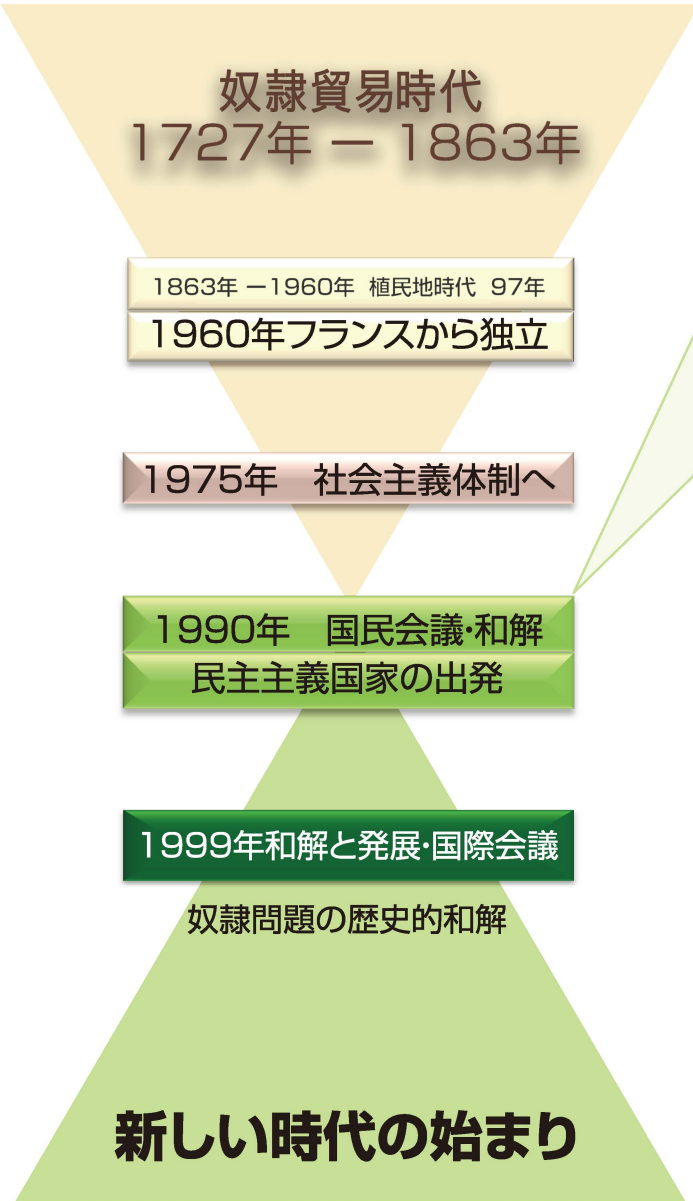




ベナンの歴史=和解の歴史



ケレク大統領

政府代表

1990年 国民会議

10日間の対話による民主化に成功

和解の成立!



ドゥスーザ大司教

全宗教者の代表
全国民の代表
精神性を象徴



ソグロ大統領



ケレク大統領



ヤイ大統領とローマ教皇

●1994年 UNESCO「奴隷の道」プロジェクト、ベナンで開始
奴隷貿易の真実を明らかにする
ベナン奴隷海岸に「Gate of NO Return」建設

●1996年 ケレク大統領再選

●1999年 ケレク大統領、奴隷貿易問題に対しアメリカ黒人へ謝罪

和解と発展のための国際会議 奴隷問題に関係した国々が新しい出発

●2011年 ベネディクト16世教皇ベナン訪問

全アフリカに対して「和解・正義・平和」のメッセージ強調

●2012年 ボニ・ヤイ大統領アフリカ連合議長に選出



国民会議における国民の和解

- 政策選択の間違い=事実認識**
 - 国家体制の崩壊
 - 経済破綻
 - 国家の混乱
- 問題を自分自身のものとして真摯に客観的に認識**
 - 一人の心の葛藤の克服
 - 国家元首自身が間違いを認める
 - 正しい方向に向かう意志に従う
- 愛国心**
間違いを謝罪し、赦しを請う

真理的要素

- ベナン人の伝統文化
- 精神性を重んじる
 - 赦しと寛容
 - 長老を中心とした社会の構成
 - ・元大統領たちの役割
 - ・在外ベナン人の活躍



国家危機の克服

和解成功の要因

和解と発展のための3つの原理

- 過去(歴史)の事実の確認
- 誤りを認める
- 赦し合い、憎しみの連鎖を断つ



和解に不可欠な精神的要素

赦し

寛容

同意

一致

理解

対話

自己中心性の克服

心に平和の砦を築く

奴隷貿易問題の歴史的和解

1. UNESCO「奴隷の道」プロジェクト

- ・人間の尊厳性に対する罪
- ・アフリカ人も奴隷売買に関与
- ・単なる人種問題ではない
- ・アフリカ全土の混乱
- ・アフリカ発展の大幅な遅れ

2. 自分の先祖の問題を認識

- 奴隷貿易売買関係者の子孫
- ・心の葛藤の克服
 - ・自分の先祖の問題を認める
 - ・先祖の罪を自分のものとして解決する

3. 先祖に対する愛情

先祖の間違いを謝罪、赦しを請う

真理的要素

- キリスト教精神
- 信仰を基盤とした団体、伝統、実践
 - 博愛
 - 赦しと寛容

歴史的問題解決

課題

宗教、性別、人種、信条を超えて全人類に適用するために
普遍的客観的真理が必要(UNESCO憲章)